



## 企業理念・100億宣言に向けた経営者メッセージ



代表取締役  
三井伸悟

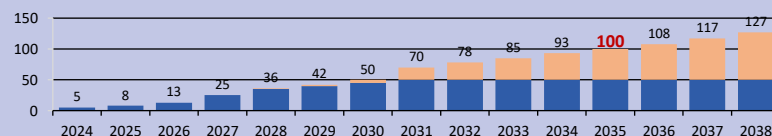
## 見えないリスクを測れるものに（企業理念・ミッション）

2011年、東日本大震災の福島放射線量測定プロジェクトで現場を指揮しました。目に見えない環境リスクに、技術と知識で立ち向かう。それが私たちの原点です。アスベストは潜伏期30年を経て静かに命を奪います。日本の中皮腫による死亡は年1,562人。被害のピークはこれから訪れます。私たちは創業5年で年間10万検体を分析する体制を築き、ビジネスモデルを日本で実証しました。次は世界です。世界70カ国以上で、アスベスト規制はまだ整備されていません。分析技術者も品質基準も存在しない国々に、専用顕微鏡・AI判定・ラボ運営ノウハウを三点セットで渡し、現地の起業家とともに分析産業ごと輸出します。浜松から、世界の人々の命を守り抜きます。

## 売上高100億円実現の目標と課題

### 実現目標

2035年に売上高100億円を達成する。国内事業の拡大と海外展開の両輪で実現する。  
■ 国内分析事業 ■ 海外フランチャイズ事業（単位：億円）



### 課題

- ・国内の建物解体需要は2030年頃にピークを迎えるため、単一市場への依存から脱却する必要がある
- ・分析品質を維持したまま処理量を拡大するには熟練技術者の育成期間が制約となる。AI判定による省人化が不可欠
- ・諸外国の多くはアスベスト規制自体が未整備であり、分析技術者も品質基準も存在しない。
- ・汎用の偏光顕微鏡は1台約400万円とオーバースペック

## 偏光顕微鏡によるアスベスト観察



- 本社所在地：静岡県浜松市中央区
- 事業概要：建材等に含まれるアスベストの調査・分析、新たな分析手法の研究開発、分析コンサルティング
- 常時使用する従業員：106名（2026年9月時点）
- 現在の売上高：13億円（2026年1月期）
- 法人番号：5080401025170
- Web：https://alfred-lab.co.jp/

## 売上高100億円実現に向けた具体的措置

### 目指す成長手段

- ・アスベスト分析専用の偏光顕微鏡を開発し1台100万円以下を実現。日本で生産・品質管理して輸出
- ・累積30万検体の実分析データを基盤としたAI判定システムと自社LIMSをSaaSとして提供
- ・顕微鏡+AIソフト+ラボ運営ノウハウの三点セットによる分析産業のフランチャイズを展開。インドを起点にアジア・アフリカ・中東へ
- ・国内はラボの新設・増床と設備投資により処理能力を拡大
- ・アスベスト以外の環境分析へ対象領域を拡張

### 実施体制

- ・インド工科大学ハイデラバード校生7名を2026年に採用し、AI研究開発の中核を担う専門チームを構成
- ・静岡大学工学部との共同研究「A-SAPプロジェクト」でAI判定技術を開発。特許3件取得、静岡大学との共同出願1件が審査中
- ・浜松第一・浜松第二・福岡の3ラボでISO/IEC 17025認定を取得済み
- ・自社ラボ4拠点の立上げと国内50社以上のラボ立上げコンサル実績を活かし、加盟者へ研修・品質管理・ISO17025取得を支援
- ・インドで顕微鏡販売・AI SaaS・ロイヤリティを自社収益とする